

(midori)

ミドリ



公益財団法人
かながわトラストみどり財団

小網代の森に夏がやってきた！

「森からの贈りものプロジェクト」進行中
大船フラワーセンターがリニキュアルオープン



1985年に発足以来、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。1万人を超える会員の支援や募金寄附、ボランティアの皆様の協力を受け、今ある自然環境を次の世代に引き継いでいけるよう取り組んでいます。

☎ 045-412-2525
✉ midori@ktm.or.jp
@kanagawa_midori
facebook.com/ktm.or.jp
kanagawa_trust

CONTENTS

もくじ

自然へ一歩

縄張りを持つオオムラサキ
昆虫研究家 吉谷 昭憲 P.3

かながわトラストニュース

・トラスト緑地活動報告会
・保存契約緑地の拡大 P.5

久田緑地

「森からの贈りものプロジェクト」進行中
建築家・木工家・街の木ものづくり
ネットワーク代表理事 湧口 善之 P.6

小網代の森に夏がやってきた!

慶應義塾大学名誉教授・
小網代野外活動調整会議代表理事
岸 由二 P.8

大船フラワーセンターが リニューアルオープン

P.10

財団主催イベント

P.12

かなユリ・チャレンジに参加して

(株)研進 出縄 貴史 P.16

一里塚・四方山話 ⑤

「原木しいたけ」
神奈川県森林インストラクター
野牛 雪子 P.17

事務局だより

(株)マキタの充電工具配備協力
伊藤健三理事 環境大臣表彰 受賞
小網代の森に神奈川県がトイレを新設 P.17
パワースポット・癒しスポット募集中
ほか P.18

会員の皆さまへ

※転居先不明で返送されるケースが増えていきます。
住所などの変更がありましたらご連絡ください。

※機関誌「ミドリ」は財団公式WEBサイト
(http://ktm.or.jp) で読むことができます。
個別の発送停止をご希望の方は財団事務局まで
ご連絡ください。



表紙の写真

夏の日草刈り／総合電動工具メーカーの(株)マキタより充電式のチェーンソーや草刈機等を低価格で提供していただきました。

写真は2018年5月20日小網代の森で行われた、貸与式後の試運転の様子です。

詳細記事▶P17へ

会員数 & 寄附募金のお知らせ

トラスト会員を募集しています。
会員の皆さまからご紹介ください!

現在の会員数 (2018年3月末現在)

	普通会員	緑地保全 支援会員
個人会員	3,909人	395人
家族会員	6,789人	636人
法人・団体会員	261人	25人
特別・名誉会員	320人	
計	11,279人	1,056人

遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附について関心が高まり、これまでに遺贈を受けた公益事業を開始しております。遺言の財産受取人として、公益財団法人かながわトラストみどり財団をご指定いただけます。

相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10ヶ月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

「かながわトラストみどり基金」について

県内の優れた自然環境や歴史的環境を保全し、緑豊かな神奈川を次の世代に引き継いでいくために必要な資金を積み立てることを目的に、昭和61年に神奈川県に設置された基金です。この基金は緑地の買入れや財団の行う事業への支援など、「かながわのナショナル・トラスト運動」を推進する原動力となっています。

トラスト基金への寄附実績

累計額(2018年3月末現在) 14億514万7,946円

寄附者名(2018年1月～3月) (敬称略)

稲葉 讓、大石 剛、藤崎 英輔、山本 勝久、イオンリテール(株)南関東カンパニー、ウエイズグループ、神奈川えびね会、(株)神奈川保険事業社、(株)環境管理センター

トラスト募金箱設置による協力 (2018年1月～3月) (敬称略)

海老名水道営業所、(公財)神奈川県公園協会、県自然環境保全課、県立かながわ農業アカデミー、山岳スポーツセンター、秦野市役所環境産業部環境保全課、富士箱根グレストハウス

「かながわトラストみどり財団」への寄附

財団へ寄附をいただきましたのでご紹介いたします。誠にありがとうございました。

寄附者名(2018年1月～3月) (敬称略)

青木 志津子、赤塚 環悦子、浅見 一義、新井 みどり、安齋 房枝、池谷 享子、池谷 善博、石井 美枝子、石丸 勇介、板橋 奈津子、井出 美美子、伊藤 順子、井上 佳代子、井上 哲也、岩田 岳久、岩宮 桜子、岩本 俊子、白井 新太郎、梅川 照子、江島 榮子、大石 勝義、大野木 秀子、奥村 千恵子、角田 智子、方波見 淳、片山 桂子、加藤 大世、金森 悟、苅部 京子、神田 知幸、神原 武男、菊池 由美子、草柳 博、久保 智子、久保 幸子、小泉 一郎、齊藤 敏、齊藤 吉之、和子、酒田 浩幸、相楽 悦男、重田 昌利、清水 紀彦、新谷 眞弘、末吉 玖留美、須方 隆證、菅沼 千幸子、菅野 実、杉村 和、杉村 道子、鈴木 のぶ子、関本 美佐子、高野 伊久男、高橋 敏雄、武田 優子、田島 勇次、田中美佐枝、田辺 奈緒子、津久井 照子、津戸 芳子、内藤 誠一、二宮 和昭、野村 和哉、濱尾 光吉、早川 昌子、林 洋子、姫野 英子、平塚 君江、藤田 よし子、二見 郁子、前田 美津子、増子 忠治、増田 泰代、松田 江利子、松林 義信、丸茂 長幸、山影 正裕、山口 英夫、山村 みや子、山本 勝久、山本 道夫、吉井 由里子、吉川 久子、吉見 章二、涌井 明子、渡部 明、アサヒ飲料販売(株)、朝日オフセット印刷(株)、上野トランステック(株)、大磯町ナショナルトラスト、(有)尾上共同事業部、(株)カトシダ、(株)ラ・ルース、(株)アド・カジェンス、さわやか水道サービス、谷本緑化(株)、秦野南が丘ウェルシーみどりの会 荒木 良子・岡村 文夫、(有)泰成緑地建設、連合神奈川(匿名希望14名)

※掲載の承諾をいただいた皆さまをご紹介させていただきます。

縄張りを持つ
オオムラサキ



よしたに あきのり
絵と文：吉谷 昭憲

昆虫研究家・生物絵本作家
著書に、絵本「昆虫の体重測定」
(福音館書店)など

梢で見張りをするオオムラサキのオスです。翅の表の半分は鮮やかな青紫色ですが、裏面は一樣に白っぽい色彩です。脚に注目すると、4本しか見えません。前脚は小さくなって、体に張り付くように収まっているので、

目立たないのです。体は頑丈で、どことなく風格を感じさせる魅力的なチョウです。幼虫はエノキ類の葉を食べて成長します。3令幼虫の状態、落ち葉の裏に隠れて越冬します。

縄張りを持つオオムラサキ

吉谷 昭憲

オスのオオムラサキは縄張りを持ちます。見通しの良い梢に陣取って、ペアとなるメスが来るのを待ちます。他の虫が近くを通ると、サッと飛び立って追い払います。

また、樹液で食事をする際は、餌を巡ってカナブンなどとも戦う必要があります。そのため体は頑丈で、実際に体重を量ると1.5g近くありました。

一方、長い旅をするアサギマダラは縄張りを持ちません。体重を軽くして、グライダーのように滑空する方法で渡りをします。翅は薄く、体も極限まで細くしています。アサギマダラの体重を量ってみると0.25gしかありませんでした。翅の面積は両者ともさほど変わらないのに、体重差はなんと6倍です。

同じ蝶でも目的に合う体形と重さを獲得していることに、自然の妙を感じます。



▲樹液を吸うオオムラサキのオス



▲オオムラサキの羽化



▲オオムラサキの終令幼虫



▲アサギマダラの滑空飛行

『かながわのトラスト緑地活動報告会』

2018年3月22日(木)

財団でトラスト緑地保全支援事業を開始して10年。会費や寄附を募り、3緑地それぞれ3つの団体に活動の支援を続けてきました。その活動報告会を桜ヶ丘緑地にも近い保土ヶ谷公会堂1号会議室で開催しました。

講演は岸 由二氏(慶應義塾大学名誉教授)。トラスト運動の今後について「**トラスト緑地などの都市域の自然は人里離れた山奥の手つかずの希少な存在ではなく、かといって昔のように自然を日常的に利用する里山管理もできない。そんな緑の領域では、安全、魅力、生物多様性に配慮した新しい保全管理とそれを担う資金調達が必要。それをできるのがトラスト運動です。**」と話されました。

また、各3緑地の団体からの活動報告と意見交換を行いました。今後も緑地それぞれの現状と課題について情報交換しながら、良好な自然環境を保全できるよう財団も引き続き支援していきます。



▲左から中林氏(桜ヶ丘)、稲葉氏(久田)、石川氏(小網代の森)

「メディアに取り上げられ、新たに親子で参加される方が多くなっています」

○桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト(桜ヶ丘緑地)中林氏

「竹林の維持管理を中心に、植生調査や新たな雑木林管理も始めました」

○久田緑地くらぶ(久田緑地)稲葉氏

「支援いただける企業や地元社会福祉協議会などさまざまな協力を受けながら事業を進めています」

○NPO法人小網代野外活動調整会議(小網代の森緑地)石川氏

[トラスト緑地]

保存契約緑地の拡大について



葛葉緑地(秦野市)において、地権者、秦野市及び財団の三者の話し合いを進め、平成29年度より新たな緑地保存契約(935㎡)を締結しました。

引き続き地権者の理解を得て契約地の拡大に努めていきます。

大和市 久田緑地

森からの贈りものプロジェクト
進行中

伐採され搬出を待つシラカシの丸太(左) / 木工返礼品の一輪挿しなど(右)

緑地で伐採、^{せんでい}剪定される枝木や丸太は廃棄物として処理されてしまいます。それまで何十年と根を下ろして成長を重ね、さまざまな恩恵を与えてきた樹木の最後が廃棄物扱いでは悲しい結末といえます。そこで(社)街の木ものづくりネットワークと連携し、寄附の木工返礼品として生まれ変わらせるプロジェクトを昨年の12月から開始しました。

昨年冬より伐採、製材、乾燥、加工といった工程を経て、寄附いただいた皆さまに木工品が届くのは今年の12月の予定です。樹木から製品になっていく工程について木工を手掛ける湧口善之さんにお話を伺いました。

【森からの贈りものプロジェクト寄附も受付中です。詳しくは財団事務局まで。】

緑地と住宅地の境にある緑地周縁部の木々は、地域の方々に緑の景観を提供し、喜ばれていますが、一方で敷地を大きく超えて隣地に枝を張り出して、電線や建物などを圧迫したり、畑や住居の日照を遮ったり、たくさんの落ち葉やどんぐりを落とすなど、問題となることもあります。

剪定によって対応すれば良いのではないか？という考えもありますが、大木の場合には太い幹に手を入れざるを得ず、結果として著しく木を傷め、弱らせてしまいます。弱った木では、ほぼ確実に腐朽菌や木を食害する虫の侵入が進行し、ゆくゆくはいつ倒れてもおかしくない危険な木になってしまいます。

今回の取り組みは、このような緑地の管理上どうしても伐らざるを得ない木々(これまでは捨てられていました)を木材として活用し、緑地保全に役立てようというものです。活用する樹種はウワミズザクラ、シラカシ、エノキ、ムクノキなど今日では、木材としての流通量がとても少ない樹種たちです。

■ウワミズザクラの特性

木材として見た場合、反りや割れなどの出方が広葉樹としては比較的大人しく扱いやすい樹種です。材は緻密ですが硬さは中庸、赤みが強い煉瓦色で、所々に黒い筋の模様が入る魅力的な木材です。今回は主にカッティングボードを作ります。

■シラカシの特性

材質としては硬く粘りがあり強靱。真っ白な材ですが過去に剪定したところから入った傷みが、主たる幹の中心部に浸潤し、進行していることが見て取れます。木材の世界ではシラカシの真っ白な材の中心から花びらのように広がる黒い模様を指して「ぼたん」と呼んでいます。今回は、重厚で硬い材質を生かして、スツールの脚などに使いたいと考えています。

■ムクノキの特性

網目状の模様が入った樹皮で、さまざまな樹種のなかでも見分けやすいムクノキは、鳥などに運ばれた種からあつという間に大きくなる、繁殖力・成長力が強い樹種です。

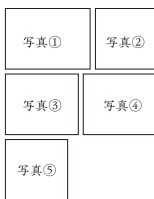
一見、まっすぐな丸太に見えますが、先のウワミズザクラ同様「アテ」が強そうです。木材の世界の言葉で「アテ」というのは、まっすぐに加工しても曲がってしまう性質、木材の欠点を表す言葉です。写真②を見ると丸太の芯が中心ではなく片側に寄っていることが分かりますが、これは良く誤解されている木が立っていた方位によるものではなく、木が傾いたり片側に寄って枝葉が出ていて、木が倒れるような力が働いていたところでバランスを取って立つためにこのように成長したものです。こうした木は材になっても曲がろうとする強い力を内包して、まっすぐに切っても曲がってしまうのです。

樹木を木材として見た場合、腐朽や虫食いのような明らかな欠点だけでなく、アテのような一見わかりにくい欠点もあります。そのため山で伐られる広葉樹であっても、木材市場で流通できるものは全体の1割にも満たない(大部分は製紙用チップなどになります)選ばれたものだけなのです。

街の木や久田緑地のような緑地の伐採木では選ぶほどの量がそもそもありません。今回の取り組みは、普通は木材にされないような活用が難しい木々の欠点をどう克服し、どう活かすかという取り組みでもあるのです。



シラカシの「ぼたん」模様



- ① 搬出作業
- ② 赤みが強い煉瓦色のウミズクラの丸太
- ③ シラカシの丸太、中心に「ボタン」が見える
- ④ ムクノキの丸太
- ⑤ 搬出される丸太

DATA

■久田(くでん)緑地

大和市にある「かながわのナショナル・トラストの第2号緑地」です。雑木林と畑や屋敷林が織りなす相模野の農村風景が残ります。大和市と横浜市の境界を流れる境川に沿って続く崖線上に細長く伸びる緑地で、一部に神奈川県へ寄贈された場所もありますが、大部分は財団と土地所有者との保存契約によって保全されている緑地です。植生は主にシラカシなどの常緑樹林であり、植林されたスギ・ヒノキやモウソウチクの竹林もあります。



プロフィール



ゆぐち よしゆき
湧口 善之

建築家・木工家・緑地コンサルタント
(一社)街の木のづくりネットワーク(マチモ)代表理事



小網代の森に夏がやってきた！

NPO法人小網代野外活動調整会議代表理事 岸 由二 きし ゆうじ

伸びあがったアシ、オギ、ガマの大群落は、浦の川流域・中央の谷の低地を埋め尽くしました。引き潮の輝く干潟を背景に浜辺の草原いっばいに広がり、アゲハたちの群がったハマダイコンの花群れは嘘のように消え去り、切通しのアスカイノデの隙間に、真紅の爪のアカテガニたちが姿をみせはじめます。大地の刻む必然のまま、森と干潟と海がみごとに連なった奇跡の生態系、小網代・浦の川の流域に、いま、初夏の日差し到来です。

5月後半から6月にかけ、小網代の自然は、夏に向けてめまぐるしい展開をみせます。

春、シオヤトンボの群生したボードウォーク脇の湿原に、ホバリングする宝石のように輝くサラサヤンマ登場。河口に密集した稚アユは、みな中流に遡上して、大きな淵に取まり、そのアユをねらって、矢のように川面をゆくコバルトブルーのカワセミ。オギの草原を割り、広がるハンゲショウの鮮やかな緑の大群落は、精一杯の光をあびて真夏の化粧の準備にはいり、ジャヤナギの木陰にクサヨシの清楚な穂波が広がります。

見事に育ち、ハマダイコンの花の去った海浜の草原を埋めつくす勢いのハマカンゾウ。真昼の引き潮の干潟の縁には、NPOスタッフのガイドを受けながらチゴガニたちのリズムカルなダンスに見入るファンたちの姿があります。そして息つくひまなく、谷の湿原に1,000匹をこすゲンジボタルの光の晩がやってきます。昨年9月、

三浦を襲った時間87mmという未曾有の豪雨で、小網代の水系は大攪乱を受けたのですが、市民・行政の熱い応援とNPOスタッフの全力作業で、流れは見事に回復をとげ、湿原の闇に光の乱舞が星雲のように広がりました。

温度差のある小さな流れができるよう整備されているので、小網代のホタルのピークは5月末から6月にかけて10日ほども続きます。ホタルの季節が終われば、真昼の森は大きなアゲハたち舞い、気の早いハマカンゾウが咲き始め、やがて満月と新月をはさむ前後の晩はアカテガニたちの放仔のドラマの時となるのです。



▲ハンゲショウ群落





▲キアゲハ



▲モンキアゲハ



▲サラサヤンマ



▲ハマダイコンの群落



プロフィール

かし ゆうじ
岸 由二

慶應義塾大学名誉教授・NPO法人小網代野外活動調整会議代表理事
専門は進化生態学。流域思考にもとづく都市、自然環境再生の理論、実践に携わる。

関連イベント情報 / Events

講習会

ボランティアや活動従事者にもオススメ!

ヒトといきものお付き合い。



スズメバチ講習会

8月18日(土)

9:30~12:30

【講師】東京家政大学環境教育学科 博士片田 真一氏

- ◆自由研究に最適!昆虫が活発になる真夏に生きもの観察会を行います。今回はスズメバチの生態にスポットをあて、ハチとヒトとの上手なつきあい方を学びます。
- ◆ボランティア活動をしている、または野外活動従事者の方も、ぜひご参加をお待ちしています。

▶申込・詳細は13Pへ

活動

小網代の森 ボランティアウォーク

市民団体の活動

自然観察と簡単な保全貢献作業などの「ボランティアウォーク」、生きものの賑わいこぼれる初夏の小網代の森と、湿原と、干潟と、そして海に、皆さまをご案内いたします。

この機会にボランティアデビューをしませんか?

【開催日】毎月第3日曜日・9時30分~12時まで(現地解散)

【対象】どなたでも

【申込】不要・直接現地までお越しください

【料金】無料

【主催】小網代野外活動調整会議 ☎045-540-8320

【集合】京急三崎口駅前



◆汚れてもよい山歩きの服装で、申込は不要です。スタッフが小網代の森の自然の様子や保全事業の状況を解説しながら散策し、ごみ拾いなどの体験ボランティアをしていただきます。

※団体参加の場合は事前に小網代野外活動調整会議までご一報ください。



神奈川県立 大船フラワーセンターが リニューアルオープン!!

Ofuna Botanical Garden

新愛称!
「日比谷花壇
大船フラワーセンター」
って呼んでね!

2018年4月1日(日)に神奈川県立大船フラワーセンターがリニューアルオープンしました。

また、ネーミングライツ制度により、「日比谷花壇大船フラワーセンター」という愛称が加わり、指定管理者制度を導入することになりました。

今回、新たなに園長に就任したえのもと ひろし榎本 浩さんにお話を伺いました。



HIBIYA-KADAN
大船フラワーセンター



▲園長の榎本さん

ネーミングライツ制度とは、案内看板やチラシなどに大船フラワーセンターの名称を掲載するときに愛称として掲載できるというものです。県立の公共施設であることは変わりませんが、施設管理者として社名などを広報できるというメリットがあります。

その施設管理は、株式会社日比谷アメニス、公益財団法人鎌倉市公園協会、株式会社日比谷花壇、相鉄企業株式会社の4社構成による「アメニス大船フラワーセンターグループ」が指定管理者として担うこととなります。

今後は園の管理において、民間企業のアイデアや企画力などを導入して、利用者の多様なニーズに応えていきたいと考えています。夜間のライトアップや早朝花の鑑賞会、開園時間を調整するなど柔軟なサービスを提供していきたいですね。

植物園として1962年の開園から50年以上経過し、施設も老朽化したため2017年7月から閉園し、施設整備して2018年4月にリニューアルオープンしました。主だったところでは入園口のスロープの改良やエレベーターの設置、トイレの増設も行いバリアフリー化を推進しました。➤



▲新設された玉縄桜の広場

▶ また、レストハウスにウッドデッキを新設し、より行き届いた園内サービスに努めています。

展示についてはシャクヤク・ボタンのエリアを拡張し、玉縄桜の広場を新たに開設しました。玉縄桜は地元の「玉縄」地域から付けた園芸種です。1990年にここ大船植物園で、ソメイヨシノの早咲き種から選び、育成されました。これを機会に地元鎌倉のサクラにまつわる文化が醸成されていくことを願っています。

これから新たに整備され、充実した展示施設を拠点に、民間活力を十分に生かした企画運営を行い、魅力ある植物園づくりを心掛けていきますので、トラスト会員の皆さまのお越しをお待ちしています。

取材した5月▶
ネモフィラの青い花が満開でした

広大な敷地は
遠足スポットや
憩いの場としても
大人気!



DATA

■神奈川県立大船フラワーセンター

■所在地・・・神奈川県鎌倉市岡本1018

■敷地面積・・・63,900平方メートル

■開園時間・・・3月～10月、午前9時～午後5時まで
11月～2月、午前9時～午後4時まで

■休園日・・・第二・第四月曜日(祝日の場合は開園し翌日が休園日となります)※年末年始(12月29日～1月3日)

\\ 会員だとお得に! /

優待券の利用で

大人400円・

学生、20歳未満200円 → **無料**

(65歳以上及び高校生以下は150円、中学生以下無料)

主催イベント

〔共通事項〕

バス乗車 ※コース内のバス代は各自負担となります

徒歩 ※の数が多くコース難易度が上がります

高低差

※写真はすべてイメージです



※写真はすべてイメージです

自然観察 約3km・ほぼ平坦

10月13日(土) 相模国分寺・万葉集で詠まれた植物観察会

10:00~15:00

【講師】海老名市野草観察の会、海老名ガイド協会

【集合】小田急線海老名駅西口改札前 10:00

会員	無料
一般	1,000円
学生(小~大)	500円

30人(先着順) 受付:8/1~



【コース】海老名駅～ピナ・ウォーク～国分寺跡～伊勢山自然公園～(昼食休憩)～秋葉山古墳群～海老名駅

◆8世紀頃に建立された「相模国分寺」跡など、万葉集で詠まれた草花を探しながら周辺を散策し、奈良時代の秋の野辺を感じてみませんか?

歴史見学 約2.5km・高低差約50m

11月17日(土) 古都鎌倉 秋の緑と歴史の自然探訪


13:00~16:00

【講師】元鎌倉女子大学教授 県文化財協会会長 八幡 義信 氏

【集合】JR鎌倉駅東口 13:00

会員	無料
一般	500円

20人(先着順) 受付:9/1~



【コース】鎌倉駅～巽神社～八坂神社～薬王寺～亀ヶ谷切通～円応寺(途中解散)～北鎌倉駅

◆鎌倉駅から徒歩で巽神社(たつみじんじゃ)、薬王寺等を巡り、鎌倉七切通しの一つで、北鎌倉に抜ける亀ヶ谷切通を通り、円応寺を訪れます。

自然観察 約7km・高低差約130m

10月20日(土) 秦野の里山を歩き 秋を探す


9:00~15:00

【講師】ナチュラリスト 足立 直義 氏ほか

【集合】小田急線 渋沢駅改札前 9:00

会員	無料
一般	1,000円
学生(小~大)	500円

30人(先着順) 受付:8/1~



【コース】渋沢駅～かりがね松～頭高山山頂～(昼食休憩)～白山神社～泉蔵寺～渋沢駅 【持ち物】軍手

◆渋沢駅から秦野市の南西にある頭高山(すっこうやま:標高約303m)へ植物や昆虫観察を行いながら、ゆっくり山頂を目指します。山頂では「秋のエングレム(バッジ)」を制作します。

自然観察+体験 約2km・ほぼ平坦

12月22日(土) 正月飾り作りと里山植物観察

午前の部 9:00~12:00
午後の部 13:30~16:30

【講師】久田緑地くらぶほか

【集合】小田急線 桜ヶ丘駅改札前 9:00または13:30

会員	1,000円
一般	2,000円
学生(小~大)	1,500円

各10人(計20人) 受付:10/1~



【コース】桜ヶ丘駅～久田緑地～(会場)～桜ヶ丘駅

◆久田緑地で植物観察を行いながら正月飾りに使う植物を採取し、会場ではしめ縄を作り、飾りつけを行います。

野鳥観察 約4km・ほぼ平坦

2019年
1月14日(月・祝)

10:00～14:00

野鳥観察会
【講師】(公財)日本鳥類保護連盟 専門委員 坂本 堅五 氏

会員 無料
一般 1,000円
学生(小～大) 500円

【集合】相鉄線 相模大塚駅 10:00

30人(先着順) 受付:11/1～



【コース】相模大塚駅～泉の森～しらかしのいえ(昼食休憩)～ふれあいの森～大和駅
【持ち物】防寒着、双眼鏡 ※雨天中止
◆「ふれあいの森」で冬鳥のカモ類やカワセミを観察します。また双眼鏡の使用方法についても詳しく説明します。

自然観察 約6km・下約200m

2019年
1月26日(土)


9:30～15:00

大井町で箱根火山の痕跡観察と酒蔵見学
【講師】おおい自然園園長 一寸木 肇 氏

会員 無料
一般 1,000円
学生(小～大) 500円

【集合】JR御殿場線 上大井駅改札前 9:30
※御殿場線はICカードが利用不可。必ず切符で乗車を。

30人(先着順) 受付:11/1～



【コース】上大井駅～きらめきの丘おおい～四季の里(昼食休憩・直売所)～農村公園～石井醸造(酒蔵見学)～上大井駅 ※小雨天決行
◆火山噴火の痕跡を観察。野菜の直売所と、創業明治3年の代表酒『曾我の誉』の石井醸造を見学します。試飲もできます。

野鳥観察 約5km・ほぼ平坦

2019年
3月2日(土)


9:30～15:00

早春の相模川でバードウォッチング
【講師】相模原市立博物館 学芸員(生物担当) 秋山 幸也 氏

会員 無料
一般 1,000円
学生(小～大) 500円

【集合】JR相模線 下溝駅改札前 9:30

30人(先着順) 受付:1/1～



【コース】下溝駅～三段の滝広場～磯部頭首工～下磯部大風呂広場～座架依橋付近～相武台下駅 徒歩:約4～5km 【持ち物】防寒着、双眼鏡 ※雨天中止
◆春まだ浅く、冬鳥が落ち着かなくなる季節の変わり目に、相模川中流で野鳥を観察します。下溝駅から相武台下駅までの区間を歩きます。

小網代の森イベント ヒトといきもののお付き合い。スズメバチ講習会

8月18日(土) 9:30～12:30

会員 無料 各20人(先着順) 受付中
一般 1,000円
学生(小～大) 500円

【講師】東京家政大学環境教育学科 博士 片田 真一 氏
【集合】京急線 三崎口駅改札前 9:30

【コース】三崎口駅～引橋～引橋入口～(小網代中央の谷コース)～エノキテラス自由解散(昼食や午後散策ができます)
※油壺や三崎港方面、三崎口駅帰路の案内図を差し上げます。
◆自由研究に最適! 昆虫が活発になる真夏に、生きもの観察会を行います。今回はスズメバチの生態にスポットをあて、ハチとヒトとの上手なつきあい方を学びます。
◆夏のイベントでスズメバチ対策は必須であり、主催者や参加者に必要な服装やスズメバチに出会った時の対応などについてお話しします。

申込方法 財団主催イベント・小網代の森イベント

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団 みどり企画課
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 ☎ 045-412-2300 ✉ midori@ktm.or.jp 🌐 www.ktm.or.jp

【申込方法】イベント内容をご確認の上、●参加を希望するイベント名 ●参加希望者全員の氏名・住所・電話番号 ●会員の方は会員番号を明記して、FAX・Eメール・ハガキ・財団WEBサイトにてお申し込みください。

【雨天の場合】原則として小雨天決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。
【お願い】集合時間になりましたら出発します。遅れないようご注意ください。コース内のバス代は各自負担となります。
【小網代の森イベント実施の有無】雨天中止。雷・波浪注意報発令でも中止となる場合があります。

森林探訪 【共催】NPO法人かながわ森林インストラクターの会

自然観察 約6km・下約100m

2019年
9月23日(日)

9:00～15:00

河村城址・洒水の滝
～山北の歴史と自然を訪ねて～

【講師】NPO法人かながわ森林インストラクターの会
【集合】JR山北駅改札前 9:00

会員 500円
一般 1,000円

80人(先着順) 受付中:～9/16

【コース】山北駅～河村城址～河村城址歴史公園～(昼食休憩)～洒水の滝入口～洒水の滝～山北駅
※小雨天実施※天候等の状況によりコースを変更する場合があります。【服装】ハイキングができる程度(長袖、長ズボン、帽子)、防水性のある履き慣れた靴



※申込・問い合わせが主催イベントと異なります。ご注意ください。

【申込方法】森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、往復ハガキ、またはメールで。
〒243-0018
厚木市中町2-13-14 サンシャインビル6階604号
NPO法人かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会
✉ kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp
【問い合わせ】☎090-6150-6173(担当:赤崎)

森へ行こう! 活動に参加しよう!

森林ボランティア

森林づくりのための主な作業

植栽

▶ 苗木を植える作業



下刈り

▶ 苗木が周りの雑草に負けない大きさに育つまで、周りの雑草等を刈り取る作業



枝打ち

▶ 節のない木材を作ったり、林内に光を入れるために枝を切り落とす作業



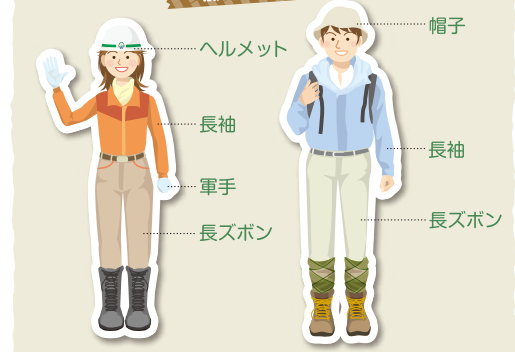
間伐

▶ 林内に光を入れるため成長の悪い造林木を切る作業

【共通事項】

- 神奈川県森林インストラクターが指導します。
- 現地に駐車場はありません。ただし「車マーク」のあるイベントのみ、車でお越しいただけます。
- 「♨️」マークのあるイベントは、昼食後に温泉入浴ができます。

森林づくりのための服装は



【持ち物】

お弁当・水筒・タオル・ノート・筆記用具・ハンカチ・ティッシュペーパー・虫除スプレー・雨具など
(ヘルメットや作業道具は財団で用意します)

2018年度

(2018.8/1~2019.3/31)

県民参加の森林づくり活動

🚗 自家用車での参加可 ♨️ 温泉入浴あり ※定員になり次第締切 ※写真はすべてイメージです

仙石原 箱根町 イタリ水源林

8月8日(水) 下刈り ♨️

予備日: 8/9(木)

【集合】 JR・小田急線
小田原駅西口 8:30*

【共催】 箱根水道パートナーズ(株)
【協力】 箱根高原ホテル

50人(先着順) 受付中

*専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません

【行程】 小田原駅西口(専用バスで移動)⇒ 現地 ⇒ 箱根高原ホテル ⇒ 小田原駅西口 ◆昼食後温泉入浴



青根 相模原市緑区 学校林

8月25日(土) 除伐・竹林整備

予備日: なし

【集合】 小田急線 本厚木駅 北口 8:30*
または B 宮ヶ瀬湖畔鳥居原駐車場
9:30

【共催】 (公財) 相模原市まち・みどり公社

100人(先着順) 受付中 🚗

*Aは専用バスで移動

【行程】 A 本厚木駅北口(専用バスで移動)⇒ 宮ヶ瀬湖畔鳥居原駐車場 B と合流 ⇒ 現地 ⇒ 宮ヶ瀬湖畔鳥居原駐車場 ⇒ 本厚木駅北口 ◆ボランティア発表会開催



元箱根 箱根町 県有林

8月15日(水) 除伐 🚗 ♨️

予備日: なし

【集合】 JR・小田急線
小田原駅 西口 8:30* または
B 箱根高原ホテル駐車場 9:30

【協力】 箱根高原ホテル

100人(先着順) 受付中

*Aは専用バスで移動

【行程】 A 小田原駅西口(専用バスで移動)⇒ 箱根高原ホテル駐車場 B と合流⇒ 現地⇒ 箱根高原ホテル駐車場⇒ 小田原駅西口 ◆昼食後温泉入浴



内山 南足柄市 成長の森

9月8日(土) 下刈り 🚗

予備日: なし

【集合】 21世紀の森駐車場 9:00
(南足柄市内山2870-5)
※自家用車で直接21世紀の森駐車場へ

【共催】 21世紀の森指定管理者

50人(先着順) 受付中

【行程】 成長の森で下刈後、木工体験(マルチラック作り・有料)を行います。



仙石原 箱根町 小塚山トラスト緑地



9月19日(水) 除伐

予備日: なし

【集合】JR・小田急線 小田原駅西口 8:30*
【協力】箱根高原ホテル

100人(先着順) 受付中



※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません
【行程】小田原駅西口(専用バスで移動)⇒現地⇒箱根高原ホテル⇒小田原駅西口 ◆昼食後温泉入浴。

千村 秦野市 頭高山

9月29日(土) 除伐

予備日: なし

【集合】小田急線 秦野駅南口 8:30*
【共催】秦野市

100人(先着順) 受付中



※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません
【行程】秦野駅南口(専用バスで移動)⇒現地⇒秦野駅南口

仙石原 箱根町 町有林

10月6日(土) 植栽

予備日: 10/7(日)

【集合】JR・小田急線 小田原駅西口 8:30*
【共催】箱根町
【協力】箱根高原ホテル

100人(先着順) 受付:8/1~



※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません
【行程】小田原駅西口(専用バスで移動)⇒現地⇒箱根高原ホテル⇒小田原駅西口 ◆昼食後温泉入浴

岩 真鶴町 真鶴町県行造林

10月24日(水) 間伐

予備日: なし

【集合】JR・小田急線 小田原駅西口 8:30*

100人(先着順) 受付:8/1~



※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません
【行程】小田原駅西口(専用バスで移動)⇒現地⇒小田原駅西口

鍛冶屋 湯河原町 町有林

10月31日(水) 間伐

予備日: なし

【集合】JR 湯河原駅西口 8:30*

100人(先着順) 受付:8/1~



※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません
【行程】湯河原駅西口(専用バスで移動)⇒現地⇒湯河原駅西口

堀山下 秦野市 全国植樹祭地

11月10日(土) 枝打

予備日: なし

【集合】小田急線 秦野駅 南口 8:30*
または 戸川公園パークセンター 9:00
【共催】秦野市

50人(先着順) 受付:9/1~



※Aは専用バスで移動 ※自家用車を利用する場合は秦野戸川公園駐車場(有料)へ
【行程】A 秦野駅南口(専用バスで移動)⇒戸川公園パークセンター B と合流 ⇒ 現地 ⇒ 戸川公園パークセンター ⇒ 秦野駅南口 ◆ボランティア発表会開催

塚原 南足柄市 塚原水源林

11月21日(水) 間伐

予備日: なし

【集合】小田急線 開成駅西口 8:30*
【共催】神奈川県森林組合連合会

100人(先着順) 受付:9/1~



※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません
【行程】開成駅西口(専用バスで移動)⇒現地⇒開成駅西口

曾屋 秦野市 弘法山公園

12月15日(土) 除伐

予備日: なし

【集合】小田急線 秦野駅南口 8:30*
【共催】秦野市

100人(先着順) 受付:10/1~



※専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません
【行程】秦野駅南口(専用バスで移動)⇒現地⇒富士見の湯⇒秦野駅南口 ◆昼食後、富士見の湯入浴

麻生区 川崎市 栗木山王山特別緑地

2019年 1月19日(土) 竹林整備

予備日: なし

【集合】小田急多摩線 栗平駅南口 8:30
【共催】(公財)川崎市公園緑地協会

100人(先着順) 受付:11/1~



※徒歩で移動 ※自家用車駐車場はありません
【行程】栗平駅南口(徒歩で移動)⇒現地⇒栗平駅南口

申込方法 県民参加の森林づくり

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団 みどり森林課

☎ 045-412-2255 fax 045-412-2300

✉ midori@ktm.or.jp 🌐 www.ktm.or.jp

【申込方法】活動内容をご確認の上、●参加希望日 ●参加希望者全員の氏名(ふりがな)・住所・電話番号 ●森林整備活動登録番号をお持ちの方は登録番号を明記して、ハガキ・電話・FAX・Eメール・財団WEBサイトにてお申し込みください。

【荒天の場合】予備日のある場合は延期、ない場合は中止となります。
【実施の可否の確認方法】実施日前日の18時以降に、電話(045-412-2255)でご確認ください。録音テープでご案内します。

『かなユリ・チャレンジ』



▲トラスト緑地に咲くヤマユリ

会員の方から一通のお手紙をいただいたことから始まりました「かなユリ・チャレンジ」。

トラスト緑地でヤマユリの自生地を再生させるため、トラスト緑地からヤマユリの球根や種を採取して、栽培・育成した球根を緑地に戻し、自生地を回復させる事業で協力いただいている、平塚の社会福祉法人進和学園にお話を伺いました。

『かなユリ・チャレンジ』に参加して

株式会社研進（障害者就業支援団体）
代表 出縄 貴史

2017年 秋、知的障害のある方達が集う社会福祉法人進和学園（平塚市）において、財団の助成を受け「ヤマユリ」の花を再生する取り組みを開始しました。

この「かなユリ・チャレンジ」は、一昨年の「津久井やまゆり園」での痛ましい事件（相模原障害者施設殺傷事件）を受け、昔は各所に見られた神奈川県の花「ヤマユリ」を増やすことで、悲劇を悼み多くの人々の心の癒しとしたいとの願いを込めた取り組みです。私共も、遣り甲斐を感じながら「ヤマユリ」の栽培を請け負わせて頂いています。

弊社は、進和学園をはじめ福祉施設からなる「どんぐりブラザーズ」というチームを組み、ドングリや木の実から苗木を育て自然の森を再生する「いのちの森づくり」を進めています。植樹用の苗木とは異なるノウハウや注意点も多く、不安と期待を抱きつつ、



▲発芽したヤマユリの苗木を囲んで（右端が出縄氏）

▲発芽したヤマユリの苗木、5個の球根を植え4本が発芽
20~60cmに生長（2018年4月18日）

まずは、自生種の球根5粒を譲り受け、イノシシの被害を受けない明るい日陰を探して福祉工場の中庭に植え付けました。

3月中旬、4株の発芽に気付いた時は、「ヤマユリの芽が出た！」と、一同大感激！その日の朝礼のメインテーマとなりました。

最初、雑草かと思いましたが、図鑑と照合すると細長くスマートな葉は「ヤマユリ」に間違いありません。早速、財団に報告すると担当の壺崎さんも駆け付けて下さり、写真を撮りながら今後の留意点についてアドバイスを頂きました。4月中旬現在、「ヤマユリ」は一番大きい苗で60cm近くに生長。

未だ、球根は小さく花は付かない可能性が高いようですが、あの華やかな花弁と芳醇な香りを想像しながら、栽培に精を出し、皆で楽しんで生長を見守りたいと思います。

原木しいたけ

各地の森林や緑地で活躍する森林インストラクターから自然環境にまつわる、さまざまな話を聞く連載企画。

一里歩いて一里塚で休息をするような、そんな肩肘張らないお話です。



神奈川県森林インストラクター **野牛 雪子**

■都市における里山空間

人口150万人を超えた川崎市では、都会に残された貴重な緑を残すためにさまざまな努力をしています。地域住民とワークショップ形式で保全管理計画を作成し、計画作りに参加した市民を中心に活動団体を立ち上げ、行政と市民の協働で適正な維持管理を進めています。「体を動かして貴重なみどりを守りたい」「豊かな自然と触れ合いたい」など、身近な緑地の管理に関わる多くのボランティアが活躍しています。

私も活動に参加して10数年が過ぎ、当初、ドングリから育てたクスギやコナラの実生は立派な樹木になりました。

このままでは再び「手入れの遅れた里山」になってしまいます。そこで直径20cm程に育った樹木を間伐、玉切りし、1ヶ月寝かしたあと「しいたけの種ゴマ」を打ち込み、ホダ木づくりに取り組んでいます。ホダ木は木洩れ日が差し込む森の中でふた夏を越え、秋からしいたけが発生を始めます。4~5年発生を繰り返し、原木は養分を使い果たすとすっかり軽くなり、手で触れると崩れるほどになって土に返っていくのです。



原木しいたけのホダ木

伐られた切り株からは新しい芽が出て、周囲の草刈りや萌芽枝を間引く「もやかき」の手入れを行うと再び大きく育ちます。これらの樹木には夏になるとカブトムシやクワガタが樹液に集まってきます。

市民の皆さんには、こうした体験を通して自然の循環を見て触れてもらいながら、身近な緑地で里山の保全を楽しみ、時折、大山や箱根などの神奈川西部の大きなみどりを訪ねてもらう。そんな市民がたくさん増えると嬉しいです。

(株)マキタの充電工具配備協力

2018年5月20日

小網代の森は多くの県民や賛同する企業の支援のもと、ボランティアの手によって保全活動が行われています。

このたび、総合電動工具メーカーの(株)マキタから充電式のチェーンソーや草刈機等を低価格で提供いただき、小網代の森で保全活動にあたるNPO法人小網代野外活動調整会議に貸与しました。最新の充電式工具はエンジン式と比べても遜色なく使い、無臭で低騒音のため、散策者に迷惑をかけることなく作業を進めることができます。併せて電動工具の利便性・機能性を皆さんに伝え、(株)マキタのCSV活動(社会貢献活動と経済活動の両立)を応援していきたいと考えています。



▲ 貸与式と工具一式

受賞

伊藤 健三理事 環境大臣表彰

2018年4月16日

財団の伊藤理事が、環境省の「『みどりの日』自然環境功労者環境大臣表彰」を受賞しました。

この賞は、自然環境の保全に関し、顕著な功績が認められた人・団体に贈られるものです。伊藤氏は当財団の理事を長年歴任し、地元海老名市でもさまざまな市民活動の代表を務めるなど、自然環境の創出に尽力したことが認められて、今回の表彰に至りました。



小網代の森に神奈川県がトイレを新設

2018年5月17日 開始

小網代湾側の宮ノ前峠入口に木造平屋建てのトイレが神奈川県によって新設されました。これまで仮設トイレを常設しておりましたが、新たなトイレ施設は男性・女性用に加え、バリアフリー、おむつ交換台やオストメイト対応などの多機能トイレも備えています。



宮ノ前峠入口に新設されたトイレ▶

当財団では、かながわのまちのみどりや山のみどりを守り育てる活動を県民参加で取り組んでいます。この取組を強化し、みどりの大切さをさらに広く普及啓発するため、「かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポット」を募集します。

- **スポットの名称について**…公表されている名称や俗称(地元で呼ばれている名称等)があれば記入してください。ない場合は、「くすのきの大木」「たけのこ林」など、応募者がつけたい名称を記入してください。
- **所在地について**…スポットの番地までご記入ください。番地が明確でない場合や複数にまたがる場合は、わかる範囲で構いません。
- **その他**…●パワーや癒やしを感じる理由、スポットの由来や応募者との関係 ●応募期間外の季節を含め、スポットにかかる写真、地図など ●パワーや癒やしの効果が高い(と感じる)時期や、おすすめのまわり方や見方

※通年で(土・日・祝日のみでも可)一般開放されている場所に限定します。また、原則として神社仏閣などは除きます。

<応募期間>

平成30年7月10日から10月20日(消印有効)まで

<応募資格>

神奈川県内に在住・在勤・在学の個人または団体

<応募方法>

所定の「応募用紙」(財団ホームページ参照)に記載のうえ、郵送、メールまたは財団ホームページから応募してください。

<選考結果の発表>

選考委員会で公正に選考し、選考結果については平成31年3月に財団機関誌「ミドリ」等で発表します。

※応募された方には、財団オリジナルグッズを贈呈します。万が一応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

<応募先・問い合わせ先>

(公財)かながわトラストみどり財団みどり企画課 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内

✉midori@ktm.or.jp 🌐http://www.ktm.or.jp ☎045-412-2525 担当:原、窪田



元気で健康な気持ちになれるような癒やしスポットや、強いエネルギーが感じられるようなパワースポットのご応募をおまちしています!

参加者募集

成長の森

～赤ちゃんとも、ともに育む「森づくり」～

- ①次世代への花粉症対策として「神奈川県産無花粉スギ」を植樹
- ②お子さま・お孫さまの名前(希望があれば生年月日も)を記載した銘板を、植樹場所付近に設置

※約150名のお名前を1枚の銘板に記載

- ③平成31年3月9日(土)に、申込者を対象に植樹会を予定

財団主催の森林づくり活動にて下刈り等の整備作業も予定
 参加費 ●お子様1人につき3,000円(苗木の購入、銘板代等)
 対象 ●平成30年4月1日までに生まれたお子さま(20歳以下)
 定員 ●300名(先着)

植樹場所 ●県立21世紀の森(南足柄市内山)

応募方法 ●

財団 🌐「成長の森申込フォーム」から、または、普通ハガキに
 ①申込者の「〒住所」「名前(ふりがな)」「電話番号」②銘板に記載するお子さまの「名前(ふりがな)」「生年月日(希望者のみ)」を明記し、財団までお送りください。お申込後、参加費振込方法等の詳細をお知らせします。

問合せ ●みどり森林課 成長の森担当 ☎045-412-2255



沿線各駅にご掲示いただきました!

京急沿線に財団主催の

『アカテガニ放仔観察会ポスター』を掲示

京浜急行電鉄(株)の協力により小網代の森で開催される「アカテガニ放仔観察会」を紹介し、小網代の森の魅力を伝えるポスターを沿線各駅に掲示いただきました。爪の赤さが目立つアカテガニの写真は、ホームで電車を待つ子どもたちの注目の的でした。

(掲示期間:2018年5月~6月)



(公財)かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算は①か②のいずれかを選択することができます。

①税額控除(所得税)

- ① 所得税の減少分
(年間の公益法人等への寄附金総額-2,000円)×40%
- ② 住民税の減少分
県民税(年間の公益法人等への寄附金総額-2,000円)×2%

(②の例): 横浜市税
(年間の公益法人等への寄附金総額-2,000円)×8%

②所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額-2,000円)の金額を、その年分の所得から控除するもの。

相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10か月)までに寄付された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。



小網代の森の
保全活動のために

寄附のご協力をお願いします

三浦半島の先端にある小網代の森は、アカテガニやゲンジボタルなど多くの生きものたちが棲む自然豊かな森です。緑地内を流れる「浦の川」は、源流から河口の干潟まで人工物で遮られることなく、森の豊かな恵みを、干潟、そして海へと注いでいます。

湿地回復作業や
子どもたちの
環境学習の
ために



ゲンジボタル▲

アカテガニの放仔▲

小網代の森は、「NPO法人小網代野外活動調整会議」によるボランティアの自然再生活動が活発に進められています。

人の手を離れて50年近く経つため、活動が始まるまでは、谷戸の斜面の樹木が繁茂し、森の中はうっそうとしていました。また、森の中央を流れる「浦の川」にも日照が入らず、水系の生き物が棲みづらい環境でした。

そこで、財団による助成のもと、平成19年から水系調査を行い、適正な樹木管理を行うほか、乾燥化が著しい平地の湿原回復作業や外来植物除去作業を進めています。今後も、さまざまな自然再生や維持管理を行うため、多くの皆さまに会費や寄附のご支援の協力をお願いしています。

同封の振込用紙の取扱について

小網代の森緑地の保全活動にご支援ください。

付属の振込用紙で、郵便局の窓口で手続きできます。



- ① 本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費の振込には使用しないでください。
- ② 振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③ 領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄にをお願いします。

(公財)かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税、法人税の控除が受けられます。



SEABORNIA

CLUBHOUSE RESTAURANT

海を一望できるオーシャンビューの店内で
非日常に誘われるお食事のひと時を

毎週金曜日は電池推進船「らいちょう」で
小網代の森近辺まで無料水上シャトル運航



シーボニア クラブハウスレストラン
tel:046-882-1216
〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代 1286 「リビエラシーボニアマリーナ」内

平日 11:30 ~ 14:30 L.O. ※ランチ営業のみ
土日祝 11:30 ~ 19:00 L.O.
定休日 火曜日 (7月8月は無休)



広告 ■ 小網代の森の自然再生活動への支援のほか、県や当財団のイベント開催などにご尽力いただいております。

皆さまのお仕事を
デザイン力でサポート!!

WEBデザイン
モバイルサイト
デザイン

イベント
企画制作
運営

Illustration
パンフレット
リーフレット

展示パネル
横断幕 / 懸垂幕
ポスター

おまかせ
ください!

大判プリンタ

株式会社 アド・カジエンス

Tel 045-650-5411 Fax 045-650-5412
Mail ad@ado-cs.co.jp URL http://www.ado-cs.co.jp/

広告 ■ 当財団の法人会員で寄付などのご支援をいただいております。

IT'S ALL ABOUT GREEN PRINTING

— 環境印刷で刷ろうぜ —

環境印刷を通じて「つくる責任つかう責任」を果たしていきます。

大川印刷
OHKAWA PRINTING SINCE 1881
http://www.ohkawa-inc.co.jp

広告 ■ 当財団の法人会員で寄付などのご支援をいただいております。